

2016年(平成28年)度アンケート調査にみる 京都府内自治体における非核・平和施策一覧

2017/1/17

企画・編集：非核の政府を求める京都の会

※非核平和施策基本データ(非核自治体宣言・平和首長会議加盟・北東アジア非核地帯条約首長賛同)……1頁

【設問】

問1、オバマ大統領の広島訪問にともない、子どもたちの広島・長崎への派遣や修学旅行などが注目されていますが今年度の重点施策は何でしたか。

- ① 被爆者援護施策について ……………1頁
- ② 子どもたちへの平和教育施策について ……………3頁
- ③ その他 ……………3頁

問2、非核・平和施策に関する予算はいくらでしたか。 ……………7頁

問3、福島原発事故から5年7ヶ月を経過するなかで、原発立地圏に新たな動きが生まれつつあります。

(1) 原発に替わるエネルギーと期待されている自然再生エネルギーについてお尋ねします。自治体として総合的なまちづくり計画に位置づけられていますか。(〇印を) ……………7頁

- イ、立案し実施しつつある ロ、立案しているが、実施に至っていない
- ハ、立案する予定である ニ、未定

※コメント：

(2) 若狭の原発群の事故にそなえ、住民避難計画にもとづく広域避難訓練も行われました。貴自治体の訓練による検証などをふまえて、避難計画の実効性についてお答えください。 ……………9頁

- イ、現状では非常に困難がある ロ、困難である
- ハ、さほど困難ではない ニ、わからない

※コメント：

※国や府に対する要望：

【まとめ】

2016年度の京都府内自治体に対する非核・平和施策アンケートに、応答しにくい設問があったにもかかわらず、すべての自治体から、なかには長文の回答を寄せていただきました。担当部局の方々のご尽力に御礼申し上げます。以下に特徴点について記します。

<1> 今年度の重点施策について

- (1) 被爆者援護施策：特になし・無回答が27自治体中20自治体に及んでいました。設問方法の工夫が要請されているのでしょうか。
- (2) 子どもたちへの平和施策については、図書館などの催しの紹介、広島訪問をふくめ例年の取り組みが着実に踏襲されています。子ども自身が現地を訪れ被爆体験を聞き肌で感じる取り組みは貴重な機会だといえます。
- (3) その他の項目では 例年の取り組みと並んで、平和首長会議への参加などが目につきました。

<2> 非核・平和予算については、自治体によって算定の費目が異なっており、自治体間の比較はしたいが、総額の低下が多く自治体で目立ちます。自治体財政困難のしわ寄せのあらわれでしょうか。

<3> 原発問題に関連した設問では

- (1) 自然再生エネルギーとまちづくりに関しては、立案し実施しつつある自治体が昨年度より増大しており、今後の動向が注目されます。
- (2) 住民避難計画については、困難さと困惑におおわれている感が深いです。避難訓練のしっかりした検証とともに、国および府段階から抜本的練り直しが要請されています。

自治体名	担当部署	非核自治体宣言	平和首長会議	北東アジア非核地帯条約首長賛同	【設問1】今年度の重点施策は何でしたか。 ①被爆者援護施策について
1 京都府	総務部 総務調整課	—	—	—	・従来どおり、原爆被爆者の援護については、法に基づき健康診断の実施や各種手当を支給するとともに、府独自措置として、検査項目を拡充した人間ドックの実施や年末見舞金を支給している。 ・また、府営住宅の優先入居も実施している。
2 京丹後市	企画総務部 企画政策課	2006.3.29	◎	◎	特になし
3 伊根町	総務課	1989. 9.27	—	—	特になし
4 与謝野町	総務課	2007.3.29	◎	◎	特にありません
5 宮津市	総務課	1987. 3.27	◎	◎	特にありません
6 舞鶴市	企画管理部 企画政策課	1990. 3.24	◎	—	—
7 綾部市	企画政策課	—	◎	◎	特になし
8 福知山市	市民人権環境部 人権推進室	1987. 9.25	◎	◎	・8月6日、8月9日及び8月15日に平和祈念式典及び全国戦没者追悼式が執り行われるのに伴い、本市においても原爆死没者及び戦没者を追悼し、併せて世界恒久平和の確立を祈念するために、各庁舎において半旗の掲揚と黙とう(庁内放送による)を実施しました。 ・また、原子爆弾被爆者の方の戸籍に関する証明手数料については、「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」の規定に基づき、市の手数料条例で定め、徴収しておりません。 ・被爆者への援護施策については、京都府作成の「原爆被災者のしおり」に基づき、市町村にできる各種申請手続きに関する事務を行っております。 ・また、京都府原爆被災者の会福知山支部に対して、毎年活動助成を行っております。
9 南丹市	総務部 総務課	2007.12.21	—	—	特に重点施策として位置付けた被爆者援護に関する施策は実施しておりません。
10 京丹波町	総務課	2007.3.23	◎	◎	特にありません。
11 亀岡市	市長公室 秘書広報課	2010.8.7	◎	—	なし
12 京都市	総合企画局 総合政策室	1983. 3.23	◎	◎	被爆者に対する本市独自の援護施策として、市営交通の運賃の減免、市民税の減免、国民健康保険料の減免、市営住宅の優先入居等を行っている。
13 向日市	市民生活部 市民参画課	1984. 6.26	◎	—	・特に実施していません。(昨年度までは、原爆被災者の会向陽支部の活動に補助金を支給していたが、2016年5月に解散したため、補助金は不支給)
14 長岡京市	対話推進部 人権推進課	—	◎	—	京都府原爆被災者の会と協議しながら平和施策を行っている。

自治体名	担当部署	非核自治体宣言	平和首長会議	北東アジア非核地帯条約首長賛同	【設問1】今年度の重点施策は何でしたか。 ①被爆者援護施策について
15 大山崎町	総務部 政策総務課	1995.12.20	◎	—	—
16 宇治市	総務部 総務課	1987.10.8	◎	—	京都府原爆被災者の会宇治支部に対し、団体運営費に対する補助金を支出している(平成28年度:補助金10万円) (担当部署:福祉こども部 地域福祉課)
17 久御山町	総務部 総務課	1989.9.4	◎	—	特にありません。
18 城陽市	企画管理部 秘書広報課	1986.12.23	◎	—	「京都府原爆被災者の会 城陽支部」に対し、補助金を交付した。
19 八幡市	市民部 人権啓発課	1982.9.28	—	—	特になし。
20 京田辺市	総務部 総務室	1985.7.1	◎	—	実施していません。
21 精華町	総務部 企画調整課	1987.12.23	◎	—	特になし。
22 木津川市	市長公室 人事秘書課	2007.10.3	◎	—	特になし。
23 井手町	総務課	1988.3.25	◎	—	—
24 宇治田原町	総務課	1989.6.28	◎	—	被爆者や被爆地の実相を知り、平和の大切さや命の重さ・尊さを学ぶことが、被爆者支援の第一歩であると考え、被爆地である広島市や長崎市に児童・生徒を派遣。現地での学習で学んだことや感じたこと、また考えたことを発表会や広報紙面を通じて、地域住民に広く伝えるなどの事業を展開。
25 和束町	総務課	1988.6.26	◎	—	特に実施していません。
26 笠置町	総務財政課	1988.12.16	◎	—	特になし
27 南山城村	総務課	1988.9.21	◎	—	—

自治体名	【設問1】今年度の重点施策は何でしたか。 ②子どもたちへの平和教育施策について	【設問1】今年度の重点施策は何でしたか。 ③その他
1 京都府	<p>・府内の小・中学校では学習指導要領に基づき、平和の尊さを学ぶ等の平和に関する学習を社会科、総合的な学習の時間、道徳等の時間に行っている。</p> <p>・小学校学習指導要領解説 社会編より * 第6学年の社会の目標(抜粋) 「平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。」 (内容) 平和を希求しそしてその実現や維持のためにつくすことが国民の義務であることや我が国が国際紛争を解決する手段としての戦争を永久に放棄することとすることを理解できるようにする。平和の大切さや我が国が平和な国際社会の実現のために果たしている役割、国際連合の働きなどを学ぶ。</p> <p>・中学校学習指導要領解説 社会編より * 第3学年公民的分野の目標(抜粋) 「国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。」 (内容) 第二次世界大戦の末期に受けた原爆の被害や過去の戦争に対する反省から、日本国憲法で基本的人権の尊重、国民主権、平和主義を基本原則とし、戦争放棄・戦力不保持を決意したことについて学ぶ。また、核兵器の脅威に着目させ、世界では地域紛争などが多発していることを認識させ、日本国民は憲法の平和主義に基づいて戦争を防止し、平和を確保するため率先して努めなければならない使命を持っていることについて理解させる。</p> <p>・小学校、中学校共に現行の学習指導要領では社会科の目標を「国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うこと」として指導を行っている。なお、現在使用している教科書のページ数が以前使用していたものに比べ全体的に増加したことに伴い、平和関係の記述も増加している。</p> <p>・平和教材を充実させる工夫としては、府立図書館を中心として、各公立図書館が連携して関連図書をセットにして貸し出すという仕組みがあり、修学旅行の事前学習など平和関係の学びの際には、子どもたちが様々な教材を最寄りの公立図書館で手に入れることが可能である。</p>	特になし
2 京丹後市	学校では、「国語科」「社会科」及び「総合的な学習の時間」などの教科の中で、道徳・人権教育を行っている。	広報紙「きょうたんごお知らせ版」において、広島及び長崎に原子爆弾が投下された時刻、終戦記念日に黙とうを捧げることを掲載し、世界の恒久平和の啓発活動を行った。
3 伊根町	特になし	特になし
4 与謝野町	特にありません。	原爆パネル展を庁舎ロビー内にて開催し、町民へ平和の重要性を訴える機会を設けた(8月中)。
5 宮津市	②特にありません	○広報誌に平和特集記事を掲載 ○原爆投下日、終戦記念日に半旗の掲揚と黙とう
6 舞鶴市	・引き揚げふるさと学習 ・引揚記念館教育旅行誘致	・ユネスコ世界記憶遺産国際ブランド推進事業、世界記憶遺産保存活用事業等
7 綾部市	世界連邦推進小・中学生ポスター・作文コンクール	・綾部市民平和祈願の集い(8月15日)・地球市民の集い(10月22日)・世界連邦宣言自治体全国協議会の運営 ・平和首長会議への参加

自治体名	【設問1】今年度の重点施策は何でしたか。	【設問1】今年度の重点施策は何でしたか。
8 福知山市	<p>②子どもたちへの平和教育施策について</p> <p>・本市の平和教育施策として、子どもたちに平和の尊さを教え、戦争の悲惨さと被爆の実相を伝えることは、大変重要なことだと考えています。</p> <p>・各学校での教科指導のよりどころとなる学習指導要領では、社会科における目標を「国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う」と明記されています。</p> <p>・特に、小学校6年生の歴史学習の中では、我が国にかかわる第二次世界大戦を調べる活動の中で各地への空襲や沖縄戦、広島・長崎への原子爆弾投下など国民が大きな被害を受けた歴史的事実を通して「命の大切さ、平和の尊さ」について、学ばせることを大切なポイントとして指導しています。その他にも、総合的な学習の時間や特別活動、道徳の時間を活用して戦争の悲惨さ平和の大切さを学ばせるようにしています。さらに沖縄への修学旅行を実施している中学校4校は、現地での平和学習の中で沖縄戦の体験をされた方々の話を聞くなどを設定しています。</p> <p>・市立図書館中央館・各分館においては、平和や戦争への理解を深めていただけるように、「平和の大切さ・戦争の悲惨さ」についての学習ができる図書を購入するとともに、毎年8月には特設コーナーを設けて、「平和と戦争」についての図書を多数展示し、児童生徒をはじめ、市民のみならず「平和」について考えていただける取り組みを行っています。</p>	<p>③その他</p> <p>・本市に在住または在学中の中高生を対象に、人権について広く啓発できる人材育成を目的として、平和学習を実施している。8月に中学生は広島、高校生は長崎で現地学習を行った。現地学習後は、成果物を作成し、報告会、パネル展示等の啓発活動を実施した。また、12月には、沖縄へ高校生を派遣し、人権文化体験研修を実施する予定。</p> <p>・8月人権強調月間に合わせ、人にいちばん近いまちづくり人権講演会を開催した。講師に俳優の水澤心吾さんを迎え、一人芝居で杉原千畝を演じていただき、戦争の残酷さや平和の大切さについて伝えていただいた。また、参加者に平和と人権を守るために、どのように考え、行動していくべきなのか考えてもらう機会となった。</p> <p>・原爆投下日、終戦記念日に合わせて日本非核宣言自治体協議会より寄贈されたパネルの展示会を「ミニ原爆展」と称し、市民交流プラザふくちやま3階ギャラリー前及び図書館、ハピネスふくちやま3階男女共同参画センターで実施した。昨年度に引き続き、平和市長会議加盟都市5000突破記念原爆ポスターの一部を展示物に加え、「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める署名ブースを設置した。</p> <p>・広報ふくちやま(市広報紙)において、8月人権強調月間に合わせ、平和に関する記事を掲載した。また、11月の人権特集号にて、「長崎平和学習の旅」、「広島平和行動」、「沖縄人権文化体験研修(12月実施予定のため、昨年度のもの)」の報告記事を掲載した。</p> <p>・2016年原水爆禁止国民平和大行進への対応 (1)市長による激励のメッセージ文の読み上げ (2)要望書に関する回答書の手渡し (3)行進実行委員との懇談</p> <p>・北朝鮮によるミサイル発射及び核実験について抗議文を発表した。</p>
9 南丹市	<p>本年も、文化博物館・郷土資料館において、夏季特別展「戦争と南丹市」～子どもたちに語り継ぐ戦争展～を開催し、広く平和について考える機会の提案を行いました。</p>	
10 京丹波町	<p>従前と同様に小中学校において、社会科の授業や学校行事(中学校の修学旅行)の中で戦争体験者から話を伺ったりする中で、平和について学習しています。</p>	
11 亀岡市	<p>なし</p>	<p>・平和祈念式典の開催(世界の恒久平和を願い、毎年開催している「平和祭」行事の中心的事業。)</p> <p>・平和学習講演会の実施(昨年度まで実施していた「ヒロシマ」に学ぶ親子平和の旅の事業の総括として実施。広島から被爆体験講師を招いて講演会を行った。)</p> <p>・平和のコスモス園事業(平和の歌「うつくしもの」を通じて、本市中学生が歌詞にでてくる「コスモス」の種を市内農地に蒔き、平和と友好をPR。)</p>
12 京都市	<p>○平和関連図書コーナーの設置 京都市図書館全館において、8月に平和関連図書のコーナーを設置し、図書の展示及び貸出を実施した。</p> <p>○学校における平和教育の取組 学習指導要領を踏まえ、社会科、道徳の時間等を通じて、国際社会に生きる民主的、平和的国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うための教育活動を行った。また、修学旅行で広島・長崎・沖縄などへ行く学校においては被爆体験も含む戦争体験講話の聴講等を行っている。</p>	<p>国籍を超えた人と人とのふれあいや異文化を楽しんでいただくことにより、異文化への理解を進めるとともに、平和の尊さを市民の皆様感じていただくため、(公財)京都市国際交流協会との共催により、「京都市平和祈念事業」を開催した(11月3日 於:京都市国際交流会館)。同事業では、羽衣国際大学教授でタレントのにしゃんたさんをお招きし、「共に考え、共に楽しむ多文化共生“新”時代～世界平和を願って～」と題して講演いただいた。</p> <p>また、8月15日の終戦記念日を迎えるに当たり、市民の皆様へ、平和について今一度考えるきっかけとしていただくため、平和首長会議において、加盟する都市が5000都市を超えたことを記念し、平成24年4月に作成された「ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等に関するポスター」を市役所正面玄関(掲示期間8月1日～15日)において展示するとともに、前述の平和祈念事業開催時や区役所での展示も行った。</p>

自治体名	【設問1】今年度の重点施策は何でしたか。 ②子どもたちへの平和教育施策について	【設問1】今年度の重点施策は何でしたか。 ③その他
13 向日市	<ul style="list-style-type: none"> ・広島平和記念式典への市民代表の対象を市内在住の親子とし、2組の親子を派遣した。 ・市内の小学4年生を対象に平和を題材とした書道作品を募集、表彰及び展示を行った。 ・市内の保育所園児を対象に平和の折り鶴を作成してもらった。 ・平和学習用ビデオテープやDVDの無料貸出しをした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・向日市民平和と人権のつどい(8/27開催)及び平和パネル展の開催 内容:平和書道展入賞者表彰式、映画「くちびるに歌を」バリアフリー上映会 同時開催:平和パネル展(ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間)、人権パネル展、平和書道展
14 長岡京市	<ul style="list-style-type: none"> ・平和を祈る折り鶴作成(小学校、中学校、高等学校) ・小学生の平和学習(戦時体験を聞き、平和を考える市民フォーラムにて発表) ・すいとん作り及び試食 ・平和に関するポスター展示 ・平和メッセージ作成 ・神足空襲について小学生にも分かりやすい資料をHPにて掲載(平和ポケットブック) <p>参照URL: http://www.city.nagaokakyo.lg.jp/0000001633.html</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「戦争と平和展」戦争と平和に関する図書の展示と貸出(7月2日～8月31日) ・「地域と戦争」戦時中における地域の様子についての展示(7月2日～10月2日) ・「ガラシャ平和の祈り」ガラシャウィークにて平和啓発の展示(11月2日～13日) ・「平和への取り組み」人権を考えるつどいにおいて展示(予定:12月3日) ・「平和の日」啓発のための、のぼり・横断幕の掲示(7月1日～20日) ・「平和を考える市民フォーラム'16」(7月16日) 平和祈念碑への献花、戦没者追悼の碑への献花、小学生の学習発表、中学生の吹奏楽演奏、高校生の演劇発表、高校生による平和ディスカッション、映画「夕凧の街 桜の国」、戦時食「すいとん」試食、昔の暮らしとおやつ体験、平和に関する絵本の読み聞かせ、京都市動物園の動物殺処分に関する原画展、高校生の平和に関するポスター展示、平和メッセージ「あなたが想う平和な未来」「あなたが幸せ・喜びを感じるとき」展示、平和祈念碑の掛け軸展示、平和を祈る折り鶴展示など
15 大山崎町	<p>広島平和式典へ親子を派遣、それに持参するための折りづるの作成を町立小・中学校、保育所へ依頼。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎1階ロビーにて平和のパネルの展示 ・本町歴史資料館において「平和のいしずえ展」の実施
16 宇治市	<p>8月8日～9日 小・中学生平和訪問団派遣(広島)</p> <p>8月24日「平和☆ひゅうまん夏フェスタ」開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生平和訪問団員による平和学習成果の報告 ・平和啓発映画、人権啓発映画の上映 ・「平和の絵」展 ・国民学校関連資料の展示 ・平和のお話会 <p>8月1日～24日「平和の絵」展</p> <p>10月14日 小・中学校への平和図書の寄贈</p> <p>11月以降 小・中学生平和訪問団文集発行予定</p> <p>小・中学生平和訪問団新聞発行予定</p> <p>【担当部署:総務部総務課】</p>	<p>7月6日～9月11日 国民学校関連資料の展示(歴史資料館)</p> <p>8月2日～24日 平和図書展(市内3図書館)</p> <p>8月15日 平和ロビーコンサート</p> <p>8月15日 宇治市民平和祈念集会</p> <p>28年度中 戦争体験アーカイブの作成</p> <p>【担当部署:総務部総務課】</p>
17 久御山町	<p>小・中学生広島派遣事業 7月21日・22日 34人参加</p> <p>小・中学生広島派遣事業記録展 8月15日～31日</p> <p>小・中学生平和ポスター募集事業(夏休み期間)※ポスターは学校で選定して文化祭等で展示</p> <p>平和祈念集会(8月15日)での派遣団員(1人)作文発表</p>	<p>折鶴制作 6月15日～7月15日 18,000羽</p> <p>平和祈念集会 8月15日 100名、ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展 8月15日～31日</p>

自治体名	【設問1】今年度の重点施策は何でしたか。 ②子どもたちへの平和教育施策について	【設問1】今年度の重点施策は何でしたか。 ③その他
18 城陽市	<p>[平和のつどい] 戦争の恐ろしさ、平和の尊さ等、平和の大切さを市民に呼びかけるべく、文化パルク城陽において平和のつどい(平和啓発のパネル展示、ビデオ放映、折鶴コーナー、小中学生広島派遣団昨年度参加者の作文発表(2名)、被爆体験者の講話)を実施した。</p> <p>[平和のための小中学生広島派遣団] 小中学生を対象として、原爆の恐ろしさや平和の尊さについての平和学習をするため、広島に派遣し、被爆体験者講話の受講、平和記念資料館、追悼平和祈念館、原爆ドーム等を見学した。そして「平和のつどい」で集まった折鶴と、派遣団が持ち寄った折鶴を「原爆の子の像」に捧げた。</p> <p>また、小中学生広島派遣団の感想文を文集にして市内各小中学校、城陽市図書館、コミュニティセンター図書室に設置した。</p> <p>[永遠(とわ)の希(ねが)い] 戦争体験記「永遠の希い」を市内中学生の卒業時に各生徒に配布するとともに、同記を発刊以来図書館、教育施設などにも配置し、戦争の悲惨さ、愚かさ、生命の大切さについての啓発をしている。</p>	
19 八幡市	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学生8名による広島平和祈念式典への参加(8/5～8/6) 事前学習会の開催、広島平和祈念資料館等の見学、市民から託された「平和の折り鶴」を原爆の子の像に捧げ、語り部さんから被爆体験談を聞く等の平和研修を実施。 ・平和大使報告会(9/3)の開催 広島平和祈念式典に参加した市内中学生が感じた「ヒロシマ」を報告、併せて被爆ピアノ平和コンサートを開催。中学生が作成した作文は、全校集会での発表や学年だよりへの掲載を行っている。 ・平和大使写真展を八幡人権・交流センターで実施予定(12/5～12/17) 	<ul style="list-style-type: none"> ・広島(8/6は閉庁日で実施せず)・長崎(8/9)原爆投下日及び終戦の日(8/15)に庁内で黙とう放送を行い、平和啓発を実施。 ・「平和の折り鶴」事業 市内公共施設に回収かごを設置(7/1～7/29)し、市役所ロビーに展示した後、広島や一部を長崎に送付。併せて原爆パネルの展示を行った。 ・戦争体験された方々の高齢化が進み、戦争の悲惨さを風化させないためにも後世に語り伝えることが必要であることから、戦争体験文集を作成して市内公共施設や各学校(小学校・中学校・高校)に配布。
20 京田辺市	<ul style="list-style-type: none"> ●小・中学生から「平和」をテーマにした書道作品を募集し、平和展で展示。 ●平和を考える小・中学生ひろしま訪問事業を実施(7/26～7/27)。 ●こども平和映画会を実施予定(H29. 3/11) 	<ul style="list-style-type: none"> ●平和祈念黙とう(8/6、8/9、8/15) ●平和のつどい(8/11) ●平和展(パネル展示「難民」・書道作品の展示等)、8/6～8/11) ●平和図書展(テーマ:世界の紛争と難民) ●平和映画会(一般向け:8/6、子ども向け:8/10)
21 精華町	学校教育の中で平和学習を実施	「精華町平和祭典2016」の開催 内容:平和啓発映画の上映。平和啓発パネル展示及びドキュメンタリー上映を実施。町内在住者の戦争体験文集などの展示。町内中学生による平和学習資料を展示。来場者にかき氷の無料配布を実施。参加者に折り紙を配布し平和への祈りを込めて折鶴を折ってもらった。
22 木津川市	学校教育の中で平和学習を実施	平和展(パネル展示、DVD上映)を実施
23 井手町	従前から町内全小学校(6年生 全員が対象)において平和教育の一環として、広島への修学旅行を実施しており今年度も実施した。・平和記念公園・広島平和記念資料館見学・被爆された方々のお話を聞く	本町における非核・平和に関する事業の検討・充実を図るため、本年開催予定の平和首長会議加盟都市会議総会への職員を派遣する。
24 宇治田原町	<ul style="list-style-type: none"> ●児童・生徒を広島市に派遣する「広島平和体験学習」や、中学生4名を本町平和友好特使として長崎市へ派遣する「平和友好特使派遣事業」を実施。(長崎市内では、現地中学校の平和祈念集会に参加し、平和を通じた交流を行うなど幅広い平和学習を展開) ●学習の成果を、広報紙に掲載するとともに、世代を越えて平和について考える場「平和のつどい」で発表。 ●児童・生徒及び一般から募集した平和に関する書道・絵画等作品を、文化センターに展示。 	本町非核都市宣言(平成元年6月28日決議・宇治田原町議会/平成元年10月27日告示・宇治田原町)に基づき、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願った施策を展開。平和に対する思いを次代へ繋げていくため、『平和・感謝・希望』を具現化した「平和の鐘」(町制施行50周年を記念に(H18)制作)を活用し、平和のつどいを実施。
25 和東町	学校教育の中で平和等について学習しています。	「ヒロシマ・ナガサキ被爆実相に関するポスター展」を開催 期間 8月1日(月)～31日(水) 場所 役場庁舎住民ホール
26 笠置町	特段の施策としてはないが、学校教育の中で平和について学習している。	
27 南山城村	中学校 第3学年社会科 1学期 歴史分野 第2次世界大戦とその後の復興 2学期 公民分野 日本国憲法 平和主義	道徳における学習を実施しております。

自治体名	【設問2】非核・平和施策に関する予算はいくらでしたか。	【設問3】福島原発事故から5年7ヶ月を経過するなかで、原発立地圏に新たな動きが生まれつつあります。 (1)原発に替わるエネルギーと期待されている自然再生エネルギーについてお尋ねします。 自治体として総合的なまちづくり計画に位置づけられていますか。(○印を) イ、立案し実施しつつある ロ、立案しているが、実施に至っていない ハ、立案する予定である ニ、未定
1 京都府	非核・平和施策という分類をしていない	イ、立案し実施しつつある ・昨年に「京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例」及び「再生可能エネルギーの導入等促進プラン」を策定し、様々な再生可能エネルギーの普及促進を図ることとしている。
2 京丹後市	927千円 (戦没者追悼事業、平和首長会議負担金)	イ、立案し実施しつつある ※再生可能エネルギー導入促進に関する基本的な方針
3 伊根町	なし	ニ、未定
4 与謝野町	特にありません。	イ、立案し実施しつつある 後期総合計画の施策方針により、町の施設に太陽光パネル等を設置している。
5 宮津市	100,000円	イ、立案し実施しつつある
6 舞鶴市	37,168千円	イ、立案し実施しつつある
7 綾部市	931千円	イ、立案し実施しつつある 第2次綾部市環境基本計画の中で、クリーンエネルギーの利活用として、住宅用太陽光発電システム設置に係る補助金制度の継続実施と公共施設における導入を推進することとしている。
8 福知山市	1,167,000円	ロ、立案しているが、実施に至っていない 平成27年3月に、福知山市再生可能エネルギー活用プランを策定した。
9 南丹市	非核・平和施策に特化した予算は計上しておりません。	ロ、立案しているが、実施に至っていない 環境基本計画やバイオマス産業都市構想には位置付けられていますが、総合的なまちづくり計画の中で明確な位置づけはされていません。
10 京丹波町	非核・平和施策分として分類しておりません	イ、立案し実施しつつある
11 亀岡市	平和推進事業経費として、648千円	ロ、立案しているが、実施に至っていない 総合計画において、再生可能エネルギーの活用の研究について位置付けている。
12 京都市	本市は、平和を都市の理念として位置付け、市政の様々な分野において、平和に関する取組を行っており、非核・平和施策という区分での算出は困難である。	イ、立案し実施しつつある 「京都市地球温暖化対策計画<2011-2020>」において、「エネルギー創出・地域循環のまち」を、2030(平成42)年度の目指すべき社会像の一つとして掲げるとともに、平成25年12月に策定した「京都市エネルギー政策推進のための戦略」においては、原子力に依存しない持続可能なエネルギー社会を目指し、多様な「再生可能エネルギーの飛躍的な普及拡大」を施策推進の方向性として掲げている。
13 向日市	856,000円	イ、立案し実施しつつある
14 長岡京市	798,000円	イ、立案し実施しつつある 長岡京市第4次総合計画では、低炭素社会の実現に向けた再生エネルギーの普及を目指している。また、長岡京市第二期環境基本計画においても、太陽光発電システムを中心とした再生可能エネルギーの普及を図っている。(長岡京市住宅用自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金等)

自治体名	【設問2】非核・平和施策に関する予算はいくらでしたか。	【設問3】福島原発事故から5年7ヶ月を経過するなかで、原発立地圏に新たな動きが生まれつつあります。 (1)原発に替わるエネルギーと期待されている自然再生エネルギーについてお尋ねします。 自治体として総合的なまちづくり計画に位置づけられていますか。(○印を) イ、立案し実施しつつある ロ、立案しているが、実施に至っていない ハ、立案する予定である ニ、未定
15 大山崎町		ニ、未定
16 宇治市	宇治市平和都市推進協議会への補助金:3,559,000円 【担当部署:総務部総務課】	ニ、未定 本市第5次総合計画には表記がないが、総合計画を環境の面から具体的に推進する計画である宇治市第2次環境保全計画には再生可能エネルギーの推進が位置づけられている。
17 久御山町	総務課 5万8千円 教育委員会 103万1千円 合計 108万9千円	ニ、未定
18 城陽市	1,108千円	イ、立案し実施しつつある 総合計画の実施計画である「まちづくり推進計画」において、公共施設への太陽光発電システムの導入を進めている。
19 八幡市	1,400千円	イ、立案し実施しつつある 自然再生エネルギーの活用として、住宅用太陽光発電設備等の普及促進を図るため、助成制度を設けている。
20 京田辺市	1,600,000円 京田辺市平和都市推進協議会への補助金	イ、立案し実施しつつある
21 精華町	精華町平和祭典実行委員会への町負担金100,000円	ニ、未定 本町では住宅用の太陽光発電設備や蓄電設備等、自立型再生可能エネルギー設備導入の普及を図るなど、再生可能エネルギーの普及促進に努めている。
22 木津川市	特化した予算計上なし(各事業費から支出)	ニ、未定
23 井手町	非核・平和施策分として予算を計上していない。	ニ、未定 本町はUPZ区外であるため、原発災害おける地域防災計画は策定していないが、毎年、自主防災組織、消防団、消防署、行政で地震想定もしくは水害想定避難行動も含めた防災訓練(500人規模)を実施している。
24 宇治田原町	1,139千円	イ、立案し実施しつつある
25 和束町	245,000円(戦没者追悼式費用)	ロ、立案しているが、実施に至っていない
26 笠置町	なし	ニ、未定
27 南山城村	0です。	ニ、未定

自治体名	【設問3】福島原発事故から5年7ヶ月を経過するなかで、原発立地圏に新たな動きが生まれつつあります。 (2)若狭の原発群の事故にそなえ、住民避難計画にもとづく避難訓練がおこなわれています。避難計画に関して、貴自治体の訓練による検証等を踏まえて、お答えください。 (避難者受け入れ自治体、およびUPZ外で独自計画をお持ちの自治体もお答えください)	
	イ、現状では非常に困難がある ロ、困難である ハ、さほど困難ではない ニ、わからない ※コメント:	※国や府に対する要望:
1 京都府	・避難計画は常に見直す必要があり、訓練での課題を検証し、より実効性のある計画となるよう今後も引き続き訓練の実施、関係機関との連携を深めていく必要がある。	・広域避難におけるバス等の車両及びその運転員の確保、避難退域時検査の要員確保などの府県間調整を行うよう求めている。
2 京丹後市	ニ、わからない ※コメント:当市はUPZ圏外であるものの、原子力災害住民避難計画を策定している。また、国府が実施する広域避難に基づく避難訓練にも積極的に参加したいと考えている。	※国や府に対する要望:UPZ圏内自治体と同様に避難計画を策定したが、具体的な避難先については府域外となることから、避難先の選定について京都府、関西広域連合の支援をお願いしたい。
3 伊根町	ロ、困難である 一度に多数の町民を避難するのは困難であるが、事故発生時にはやりとげる必要がある。	
4 与謝野町	ニ、わからない	
5 宮津市	ロ、困難である	
6 舞鶴市	ハ、さほど困難ではない ※コメント: 国、関係3府県、関西広域連合、関係市町、各防災機関が初めて合同で実施した8月の訓練におけるいくつかの課題についても、しっかり検証するとともに、今後も訓練の実施・検証などを重ね、避難計画の実効性が、より高まるよう充実させていきたいと考えている。	原子力災害時における広域避難の計画や実施にあたっては、広域的であり、1市町では調整が難しいため、国が主導となり京都府や関西広域連合などと連携し、行っていただきたい。 また、避難用のバスや運転要員の確保、福祉車両の拡充、避難道路の改良、拡幅、バイパス化などのインフラ整備、緊急時モニタリング体制の拡充、安定ヨウ素剤の服用の必要性と副作用に係る国民への周知、平常時に服用した際の副作用等にかかる責任などをお願いしたい。
7 綾部市	ロ、困難である	避難用道路の確保(拡幅やバイパス等)、車両(バス)の手配、要支援者の避難にかかる支援、広域避難時の調整等
8 福知山市	ロ、困難である 広域的に避難が必要となった場合、交通渋滞等が考えられスムーズに避難できるかわからない。	
9 南丹市	ロ、困難である 避難ルートの整備や緊急時の輸送バスの確保、複合災害時の対応について課題があります。	
10 京丹波町	ロ、困難である	
11 亀岡市	ロ、困難である 亀岡市は、綾部市の市民6,300人を受け入れることとなっており、避難所への輸送や物資の配布方法等の課題がある。	UPZ圏内の自治体に対しては、様々な措置が講じられているため、UPZ圏外の自治体に対しても必要な措置や補助を講じていただきたい。
12 京都市	ハ、さほど困難ではない 平成24年3月に市内UPZを対象とした「原子力災害避難計画」策定した上で、平成24年度から毎年UPZ地域を対象に原子力防災訓練を実施し、避難計画(情報伝達、避難、汚染検査、簡易除染等)の検証を行っている。 これまでの訓練において避難等は滞りなく行われたが、地域によっては、避難に使用される道路が狭隘な場所があるため、自然災害等と原子力災害が併発した場合にどのような措置を講じるかが今後の課題となる。	
13 向日市	ニ、わからない	原子力災害に関する防災対策について、国や府が主体となって防災対策を進めるよう強く求めてまいります。

自治体名	<p>【設問3】福島原発事故から5年7ヶ月を経過するなかで、原発立地圏に新たな動きが生まれつつあります。</p> <p>(2)若狭の原発群の事故にそなえ、住民避難計画にもとづく避難訓練がおこなわれています。避難計画に関して、貴自治体の訓練による検証等を踏まえて、お答えください。 (避難者受け入れ自治体、およびUPZ外で独自計画をお持ちの自治体もお答えください)</p>	
	<p>イ、現状では非常に困難がある ロ、困難である ハ、さほど困難ではない ニ、わからない ※コメント:</p>	※国や府に対する要望:
14 長岡京市	<p>ニ、わからない 本市は原発より60km以上離れているため、現時点において「住民避難計画」の策定義務もなく避難訓練を行っていない。ただし、京都府の「原子力災害に係る広域避難要領」の中で本市は宮津市の避難者の受入先となっている。そのための協議は宮津市と行っているものの、訓練となるとある程度の規模と体制が必要となるため、現時点では想定訓練を行っておらず、困難かどうかの判断はできない。なお、本市における原発事故発生時の対応については、長岡京市地域防災計画に注意事項を記載している。</p>	特になし
15 大山崎町	<p>ニ、わからない 本町は、UPZ外であるため原発群の事故に伴う避難計画は定めていないが、原子力災害時の情報収集など、応急対策については、地域防災計画に定めています。</p>	
16 宇治市	<p>ニ、わからない 本市は、京都府において策定された原子力災害に係る広域避難要領により、北部からの避難者を受け入れる予定としているが、訓練等は実施していない。</p>	特になし
17 久御山町	<p>ニ、わからない</p>	特にありません
18 城陽市	<p>平成28年8月27日の訓練に参加していない。 京都府及び避難元自治体等と必要な場合には調整する。</p>	
19 八幡市	<p>ロ、困難である UPZ圏外であり、計画の作成については義務化されていないことから訓練についても行えない。</p>	
20 京田辺市	<p>ニ、わからない 広域避難の受入れに関する基本計画はあるが、受入れ訓練は実施していません。</p>	
21 精華町	<p>ロ、困難である</p>	訓練等の検証を通じて、緊急時対応の実行性を高めてほしいと考えている。特にスクリーニングの体制については、国や府が大きな役割を果たしてほしい。
22 木津川市	<p>ニ、わからない</p>	
23 井手町	<p>ニ、わからない</p>	
24 宇治田原町	<p>ニ、わからない</p>	
25 和束町	<p>イ、現状では非常に困難がある</p>	
26 笠置町	<p>ニ、わからない</p>	
27 南山城村	<p>ロ、困難である</p>	